

Japanordic Meeting	2011年8月18日(木) 9:00~12:00
--------------------	--------------------------

場所	あやさん自宅
出席者	沢広あや、藤澤郁子(記録)
議題	はくちょう文庫と中央図書館(Hovedbiblioteket)への本の寄贈について

<p>議題内容</p> <p>【初めに】 前回、はくちょう文庫を Japanordic とは別に設立するという方向で話が終わりましたが、中央図書館への本の寄贈という可能性が出てきたため、文庫と寄贈、その二つの可能性について話し合いました。</p> <p>【報告】 現在、中央図書館には約 38ヶ国もの外国語の児童書・絵本コーナーがあるが、そこに日本語の絵本はない。また予算の都合上、今後も日本語書籍の購入予定はないとのことから寄贈案を申し出たところ、かなりの好感触で外国語書籍担当者の連絡先を教えてもらった。(郁子)</p> <p>→寄贈のメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本の置き場所の確保 ・誰でも利用できる ・図書館での本の読み聞かせ ・デンマーク社会との交流(日本文化を紹介するワークショップなどの可能性) <p>→デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市に寄付することで本が色々な図書館に回り、いつも同じ場所にはない可能性がある。 <p>【提案】 絵本集めプロジェクト(仮名)</p> <p>寄贈できる場合、本を集めるプロジェクトを Japanordic で立ち上げることはどうか。</p> <p>方法案1 絵本ナビ http://www.ehonnavi.net/ ハッピー・リユース・プログラムの利用 http://www.ehonnavi.net/hrp/ http://www.ehonnavi.net/hrp/corporateclient.htm</p> <p>→メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廉価での購入(→外国からの購入が可能かどうかは確認が必要) ・プログラムのサイトにサポーターとして掲載される(PR効果) <p>方法案2 直接日本から寄贈本を集める ~あなたの絵本をデンマークの図書館へ~</p> <p>→メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とデンマークとの交流
--

はくちょう文庫について
<p>【意見交換】</p> <p>メリット→・ウェルカムパックとして 20 冊最初に絵本を無料でもらえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送が無料(しかし、ICBA を通して買った本しか輸送してもらえない) ・ICBA からのサポートや、他の文庫との交流ができる。 ・会費は払うが、毎年殆どは絵本代として返ってくる。 <p>デメリット→・場所が必要（文庫で集めた本は図書館には寄贈できないだろう。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費が発生する（年会費＋本代） ・会員だけが参加できる ・文庫を運営していく必要がある。 <p>上記の内容からまだ文庫活動を切り捨てるまでにはいかないが、もし寄贈案が通れば、そちらの方が現実的に進む可能性が高いので、文庫を一旦保留として今後の寄贈案との関係が可能かを考えていく。</p>

検討課題
<ul style="list-style-type: none"> ・はくちょう文庫との連動 ・寄贈本の集め方

今後の予定
<ul style="list-style-type: none"> ・とりあえず文庫を保留とし、中央図書館の担当者に連絡を取る。(あや) →担当者で連絡が取れ、本の寄贈案にとっても関心があるとのこと。追って面談し、具体的に話す予定あり (8月19日追加) ・可能であれば担当者との話し合いの場を持つ。(あや、郁子)